

【OIE 情報】 韓国における口蹄疫（0 型）の発生について

韓国における口蹄疫（0 型）の発生について、2016 年 1 月 12 日付けで OIE へ報告（緊急報告）がありましたのでお知らせいたします。

出典：OIEウェブサイト（2016年1月12日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=19489

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1 件（緊急報告）
- ・発生日：2016 年 1 月 11 日
- ・OIE への報告日：2016 年 1 月 12 日
- ・血清型：0 型

【発生状況】

- ・発生場所：全羅北道 金堤（キムジェ）市 龍池面の農場

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
豚	670	30	0	670	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
- ・疫学調査を実施中
- ・感染動物を淘汰

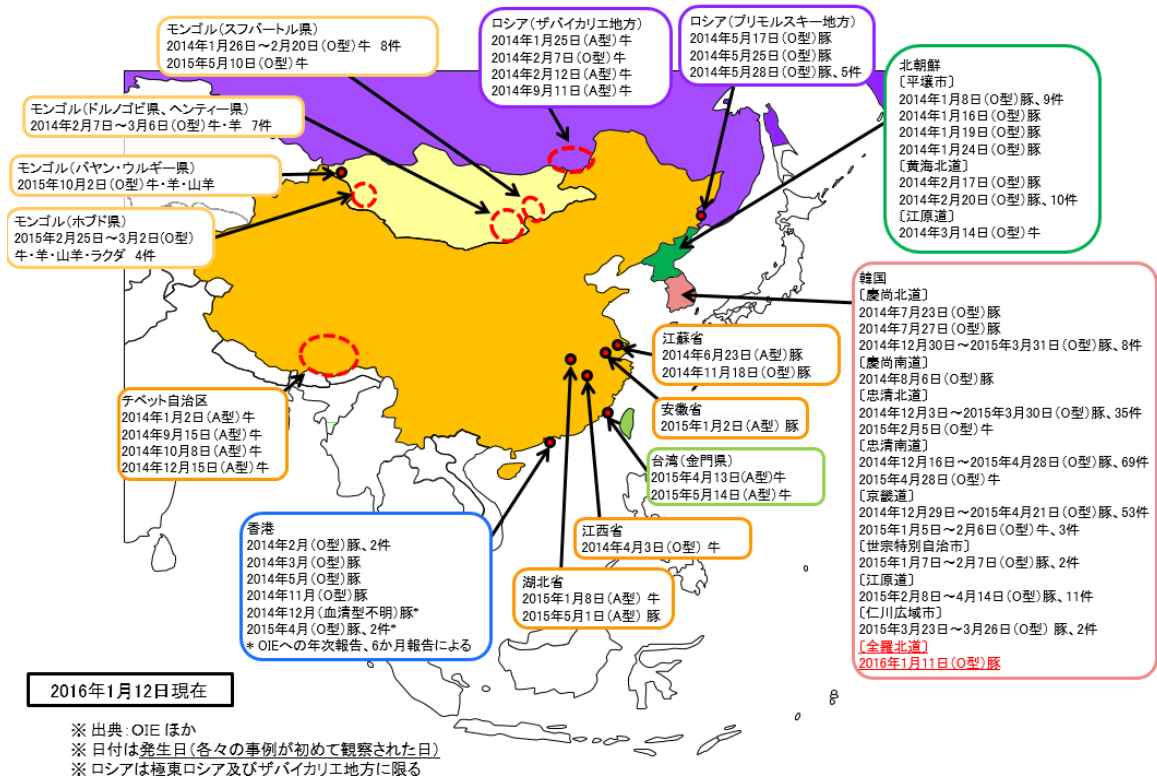
【対応】

- ・国内における移動制限
- ・発生に応じたワクチン接種を実施
- ・隔離
- ・野生宿主のコントロール
- ・患畜を治療対象としない
- ・スクリーニング
- ・施設等の消毒実施
- ・淘汰
- ・ゾーニング

【診断】

- ・診断施設：農林畜産検疫本部（国立研究所）
- ・診断法：抗原検出ELISA、RT-PCR：陽性（2016年1月12日）

中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況（2014年1月以降の発生）



※2016年1月以降の韓国における口蹄疫の発生情報等は、当省ウェブサイトで公表しています。

・韓国における口蹄疫の発生状況（2016年1月11日～、0型）

(http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/pdf/korea_fmd_o_2016.pdf)

（参考1）韓国での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

豚、牛、山羊及び鹿がA、0及びAsia-1型の混合ワクチン接種対象となっている。

（参考2）中国での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての豚、牛、羊、ラクダ及び鹿が0型口蹄疫ワクチンの強制接種対象となっている。

（参考3）ロシア（極東ロシア）での0型口蹄疫に関する情報

国境地帯に口蹄疫の緩衝地域を設定し、牛及び小型反芻動物に対して、A、0及びAsia-1型の混合ワクチンを接種している。

（参考4）香港での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての種豚及び12週齢以上の豚に対し、4か月ごとに0型口蹄疫ワクチン接種を実施。